

活動報告

2014年

兵庫頸髄損傷者連絡会 忘年会 In 明石

島本 卓

12月13日（土）に、明石にあるアスパア明石内3Fの天府真味で、32名で忘年会を行いました。2014年は、私にとって大きなチャレンジの年でもありました。海外、全国大会とその他にも初めての体験が多かったです。たくさんの仲間と出会うことができた喜びと、大切な先輩を失ったことの寂しさを感じた1年でした。

さあ、2014年の締めくくり！「最高の仲間と、最高の料理で盛り上がるぞの巻」

同級生の友達と会場探しの時から、がっつり食べてしまった私でありました。まず、一口食べて出た言葉が、「うまし」でしたね。兵庫頸損のYさんと介助者さん、学生のIさんのご協力があった4人で、駅から会場までのアクセスや、店内のスペースや通路の広さや、同階のトイレ調査も行いおもてなし準備も完了！あまりの美味しさに、調査も合わせると忘年会当日までに、私はお店に3回は食べに行きました（笑）

当日は、格別に寒かった。四川料理のピリッとくる辛さに体も温まったかもしれませんね。トークにご飯に会場は盛り上がっていますが、料理はどんどん運ばれてきます。ボリュームに驚く方もいました（笑）料理でテーブル上は、ぎっしり埋め尽くされています。



皆、「笑顔が、めちゃめちゃ素敵やん！」あっという間に、15時になってしまいました。車いすが14台も集まると会場もギッシリだ。

学生さんボランティアさん7名。当日、私もそうですが、一人で参加した当事者の方が数名おられました。一人で来られた当事者の方へ学生さんについてもらいました。

初めての食事介助や装具を使って食べている様子など、緊張しておられましたが興味津々。私に食事介助をしてくれていた学生さんが、「普段から麺類を食べられるんですか」と質問がありました。「食べるよ」と返すと、「すすってもむせたりは大丈夫なんですか」、「一口の量はどのくらい」などいろんなことを聞いたかったです。多少はすするんだけど、よく考えたら外国の方のように食べている感じですかね。「欧米か」と古いですが、ツッコミました。フォークと箸と交互に使いましたが、以外にフォークも食べやすいことを発見。毎日、食事を慣れてる方に食べさせてもらってるから、「こうしてほしい」など言わなくなっていますね。学生さんから「初めて見たり、直接話しが聞けるので参加して良かった」と言ってくださいました。大変嬉しかったです。

私自身、学生さんに質問してもらうことで気づくことが多いのと、コミュニケーションを通じて当事者側が介助者となる方に伝える大切さ、介助者側はどのようなお手伝いがあれば当事者の方が出やすくなるのかを一緒に考えてもらえる時間だと思っています。

来年は、20台を目指して場所探しだな！東エリアでの会場が多いので、西エリアでも忘年会やりたいなと考えておりますのでご期待下さい！

2015年は、もっと沢山の方に兵庫頸髄損傷者連絡会の活動を知っていただき、当事者の方に元気と情報を伝えていきたいと思います。これからも、よろしく願いいたします。



（他場所で撮影）

（自称）美容番長 島本です。

気分は、ツナマヨです◎

調査時に行ってきました。

受傷して初めてのマッサージ！「小顔プラン」だ。今日、小顔になるべきか、小顔だと信じて2014年を締めるのかを悩みました。今日、小顔になりたいと決め受けました！結果は、忘年会でお会いした皆さんが感じてくれたと思います（笑）

忘年会～学生さんと共に～

山本 智章

去る昨年(2019年)の12月13日(土)、兵庫頸髄損傷者連絡会主催の忘年会在明石市アスパシア北館3階にある四川料理「天府真味(てんぷしんみ)」にて行われました。この日は、とても寒いなか参加人数は介助者も含めて32名と大勢の方々が集まりました。店内は、約50名が入れる部屋をお借りしていたのですが、動くスペースがないぐらい人と車椅子でカツカツに詰まっていました。それだけ参加者が多かったと思います。また、初参加の方も数名おられて嬉しかったです。

まず今年を振り返る兵庫頸損Sさんの挨拶から私山本の乾杯で忘年会在が始まりました。乾杯の挨拶を急をお願いされてびっくりしましたが、今回の料理は事前に参加者からランチメニュー5つの中から1つを選んで頂いていたものと一品物を何品か注文しました。そのランチと一品物の内容は、飲茶ランチ、黒ゴマ坦々麺ランチ、四川汁なし坦々麺ランチ、四川坦々麺ランチ、陳麻婆豆腐ランチの5品、一品物には、ひこまの酢豚、上海焼きそば、ヘルシー野菜焼飯、チンジャオロース、五目野菜炒め、ユーリンチ唐揚げの6品にドリンクバーです。これほどの品数とランチのボリュームで参加費2000円は大満足できたんじゃないかと思います。次々に運ばれてくる料理でテーブルは一杯になりました。

普段、学生さんが当事者と話をすることや介助

に入ることがあまりないんじゃないかと思ひ私は学生ボランティアの方に食事介助をお願いしました。麻婆豆腐を頼んだ私はスプーンで介助してもらっていたのですが、何故か豆腐が口から落ちそうで食べづらい。どのように食べさせてもらえばいいのだろう。伝え方がわからない。悩んだ結果、スプーンを持つ角度を変えてと伝えると今までと違ってとても食べやすくなりました。ほんの少しスプーンの持ち方を変えるだけで食べやすさが違ってくるんだと気づきました。学生さんから「食事介助をするのは初めてなので、いい経験になりました」なんて言われると何か良いことをした気分になりとても嬉しかったです。私の方がお手伝いをしてもらっているのに、感謝です。

たくさん食べて楽しくお喋りもして、あっという間に3時間が過ぎ最後にお店の前で写真を撮り忘年会在が無事に終わりました。

今回の忘年会在を終えて感じたことは学生さんのお手伝いがあったからこそ忘年会在をスムーズに行えたと思います。例えば、会場の調査や準備、当日お店まで車椅子の方を明石駅から誘導、テーブルの配置など当事者と学生さんが一緒に考えながらできたからです。このように、当事者と学生さんが違う視点から一緒になって行ったことでお互いに意見がでて気づくことや発見があり今後の活動にも活かしていきたいと思ひました。



天府真味お店前で参加者全員記念撮影

忘年会に参加して一大学生のみなさんの感想一

今回、ボランティアという形で参加させていただきました。最初はどのようにして関わらせていただいたら良いのかよく分からず、戸惑っていましたが、会に参加されてる皆様がとても親切に指示して下さい、また沢山のお話を聞くことができとても良い経験をさせていただきました。

会に参加されてる皆様はとても活発で明るくて、元気を与えてもらいました。力の至らない部分も多くあり反省点もあります。また次回参加する機会があれば、今回の経験を生かして皆様のお手伝いできれば幸いです。このような素晴らしい機会に参加させていただき本当にありがとうございました。

神戸学院大学 理学療法学科 W. A

兵庫頸損連絡会の忘年会に参加させて頂き、たくさんのことを学ぶことが出来ました。初めは緊張していましたが、みなさんから積極的に話して頂けたので色々話すことが出来ました。頸損になった原因など話しにくいようなことも話して下さるなど学校で勉強した頸損のイメージとは異なってとても活動的でこちらが元気をもらえるほどでした。頸損の方がこのような生活を送れるお手伝いのできるPTになりたいと改めて思いました。またこのような機会があれば参加したいです。

神戸学院大学 理学療法学科 K. N

この度、忘年会に参加させていただき、ありがとうございました。充実した1日を過ごすことができよかったですと思っています。特に食事の介助やたくさんの人と会話をするなど、とても貴重な経験をさせていただきました。この経験を今後生かされるよう今までより一層努力していきたいと考えております。またみなさまと関われる機会を楽しみにしているので今後ともよろしくお祈りします。

神戸学院大学 理学療法学科 T. H

今回、頸髄損傷の方たちと一緒に食事会をしたことでたくさんのお話を聞くことができました。最初は上手くコミュニケーションをとれるのかなど心配していたのですが、みんな陽気で話しやすい人たちばかりでとても有意義な時間を過ごせました。また食事介助では食べ物を口にに入れる場所やコツやタイミング、食べ物の大きさなど学校だけでは経験することが出来なかったことを経験させていただきとても勉強になりました。今後またこのような交流の機会があれば是非とも参加させて頂きたいと思います。今回本当にありがとうございました。

神戸学院大学 理学療法学科 N. K

今回、忘年会に参加させていただきありがとうございました。今回の忘年会を通して、色々な発見をすることができました。会場設営や会場までの誘導、また食事中には食事介助のお手伝いさせていただきました。将来、理学療法士を目指す私にとって頸髄損傷の方々からお話を聞いたり、介助をお手伝いさせていただくことによって、もっと色々な勉強をしなければ・・・と反省する一面、私にはどんなことができるだろうかと考える良い機会ともなりました。今後もこのような機会があれば是非参加させていただきたく思います。ありがとうございました。

神戸学院大学 理学療法学科 I. K